

英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動を通して

戸田市の英語教育では、小・中9年間を通して、互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供の育成と中学校卒業時には英語でプレゼンテーションができる子供を目標としている。

学習者用デジタル教科書の活用による授業改善

令和4年度は全小・中学校に学習者用デジタル教科書(外国語)が導入される

家庭と学校をシームレスにつなぐ学び

『学びの質の向上』
ー学びをデザインするー

個別最適な学びの充実

《活用例》

- ・イラストや写真の拡大機能を活用したリテリング
- ・朗読ツールを活用した「話す・聞く活動」等
- ・画像を映し出しながらの即興プレゼンテーション

《活用例》

- ・音声読み上げ機能を使用し、家庭での個別の発音練習や音読練習を取り入れた反転学習

45分間授業とモジュール授業を効果的につなぐ授業の実践【小学校】

【15分間モジュール授業×3回】

- 45分間授業をより深まりのあるコミュニケーション活動にするため、45分間授業で扱う言語材料に「なじむ」ことを目的に行う。
- ※ただ単にゲーム等を行う時間ではない。
- ※学習評価は、45分間授業の中で行う。



【45分間授業】

- 自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を育むため、**言語活動が設定された授業**を行う。
- ※授業で行われる活動の全てが言語活動ではない。言語材料について、理解したり練習したりすることと区別される。

言語活動を行う際には、相手とのやり取りに**必然性と相手意識**を持たせるようにする。決められた表現を使った単なる反復練習ではなく、相手の思いを想像し、内容や言葉、伝え方を考え、相手と必然性のあるやり取りを行う場面を設定する。

英語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す授業の実践【中学校】

本物のコミュニケーション活動の充実

- ・即興的なやり取り
- ・対話の継続や発展
- ・非言語的コミュニケーションの活用

目標に準拠した指導と評価の一体化

- ・Can-Doリスト形式による授業設計
- ・生徒との学習到達度目標の共有



ALL Englishで進める授業

- ・ALTとのT.T授業
(リアルコミュニケーションの機会)

複数領域統合活動

- ・4技能のバランスのとれた育成
- ・学力調査等の活用及び分析
- ・既習事項をフル活用した授業

ICTの活用例

- ◆ Googleformを活用した振り返り活動や課題の提出
- ◆ ビデオ機能を使ったSmall Talk
- ◆ ロイロノート(シンキングツール)や録画機能を活用したShow & Tell
- ◆ SNSを活用した、生徒同士のオンラインのやり取りを含む各活動
- ◆ プレゼンテーション資料の作成
- ◆ Jamboardを活用した英語での意見交換 ※3参照



上記の赤字表記は、今年度の重点内容として示してあります。

関連参考資料



※1 戸田市立小・中学校
英語教育ブックレット2020



※2 外国語教育はこう変わる！
シリーズ授業事例(小学校・中学校)



※3 外国語の指導における
ICTの活用について



※4 学習者用デジタル教科書
の活用実践事例